



CSR レポート2020

揖斐電電子（北京）有限公司

報告期間：2019年4月1日～2020年3月31日

揖斐電電子（北京）有限公司

北京市経済技術開発区栄昌東街 15 号

郵便番号 100176

TEL：010-6788-2288

www.ibibj.com.cn

目次 Contents

01	P3 董事長挨拶
02	P4-P5 IBIDEN グループ の ESG 経営
03	P6 内部統制
04	P7-P9 人材経営
05	P10-P12 環境経営
06	P13-P15 社会貢献
07	P16-P17 会社概要



董事長挨拶
攝製電子(北京)有限公司 CSR2020

● 董事長挨拶 ●



より良い社会、また持続的な成長を実現するため、環境・社会・ガバナンス (ESG) の視点を事業活動に深く統合し、更なるレベルアップへ向け、積極的に推進していきます。

➤ 積極的に生産活動を改善し環境負荷低減を行います。

当社は、気候変動をはじめ、大気や土壌、水源の汚染など地球環境の問題に対応するため、CO2削減、リサイクル率の向上などに加え、弛まなく改善したプロセスで製造した製品を提供することで環境負荷を低減します。継続的に省エネ、排出削減活動を推進し、更なるクリーンな生産を追求した生産活動を行うことで、地球環境保全の貢献に努めてまいります。

➤ 一人ひとりがいきいきと活躍できる会社を目指します。

事業環境の変化に対応し、会社を成長させるための基盤づくりとして、「人財育成」に力を入れています。「現地・現物・自給」「5S活動」「TPM活動」「自工程完結活動」に加えて「クロスセクション・チームワーク活動」を継続して推進する中で、社員一人ひとりが当事者意識を持ち、強いチームワークと高いモチベーションで、新たな成長に向かってチャレンジしていきます。

➤ 社会との信頼関係の構築に体系的に取り組めます。

イビデングループはイビデンウェイ、イビデングループ行動憲章に基づき、事業を通じて社会と信頼関係を構築できるように、経営の信頼性と透明性を高める活動に取り組めます。会社として、社員一人ひとりと、ルールを遵守できる企業風土を体系的に醸成し、責任ある企業としての責任を果たし、全てのステークホルダーとの共生をめざします。

当社グループは企業理念に、『私たちは、人と地球環境を大切にし、革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献します』を掲げています。これまでも培ってきた技術で、社会課題の解決に事業を通じて貢献してきました。これからも変化する社会の課題に対応し、事業を通じて貢献し続けていきます。

董事長：見玉幸三

IBIDEN WAY — イビデンの企業理念 —

イビデンの長い歴史における、「幾多の困難を全員で乗り越え、イビデンを存続させてきた力」と「近年の飛躍的な成長を実現させた英知と活力」。これを、世代や国籍を超えて受け継がれるように体系化したものが「イビデンウェイ」です。

2012年11月の創立100周年を機に、よりシンプルで、世界中のイビデングループ従業員誰にでも理解できるよう、このイビデンウェイを刷新しました。



(※「イビテクノ」とは、独自のコア技術を融合・複合し、新しい技術を創造する、当社に脈々と受け継がれてきた普遍の精神です。)

ESG経営の考え方と推進体制

イビデングループは企業理念として自然環境との調和や豊かな社会の実現を掲げており、革新的な技術で社会課題解決に繋がる製品を生み出すことにより発展を続けてきました。事業を通じて社会課題を解決し、豊かな社会の発展に貢献していくことは、企業理念の実践そのものと考え、ESG（環境・社会・ガバナンス）の活動に取り組んでいます。活動の方向性は、グローバル企業としての役割や世界トップの顧客をはじめとするステークホルダーの要請事項を反映した「イビデングループ行動憲章（以下「行動憲章」という）」で表し、私たちが進むべき姿としてグループ全体で共有しています。

【推進体制】

当社は、ESG / CSR 活動の推進部門を財務企画部に設置しています。また各部門に推進責任者を任命し、所管部署におけるコンプライアンスの推進などの CSR 活動、コンプライアンス実践の監督、所属メンバーに対する教育の実施などを行っています。このほか、リスクマネジメント推進委員会の運営、社会貢献活動の企画と実施、RBA（レスポンシブル・ビジネス・アライアンス Responsible Business Alliance）行動規範など国際規範に沿って進化しながら、マネジメントの強化を図っています。またマネジメントの強化には、社員一人ひとりの意識の向上が不可欠であると考え、ESG / CSRの重要性を浸透させるためにも継続的な啓蒙教育を実施しています。



【行動憲章】

- 1. 法令および倫理の遵守**
各国、各地域の法令および倫理を遵守し、あらゆる形態の腐敗防止に取り組み、オープンで公正な企業活動を通じて国際社会から信頼される会社をめざします。また、個人情報・顧客情報はじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。
- 2. ステークホルダーとともに発展する会社**
ステークホルダーとともに発展していく会社として、経営の透明性を高め、コミュニケーションを通じた信頼関係を構築します。また、良き企業市民として、地域に根ざした社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 3. お客さまへの感動の提供**
お客さまに感動を提供するため、社会の将来にわたる要求・動向を正しく理解し、イビテクノを進化させることで、お客さまの満足が最大になる安心・安全な商品の創造やサービスを行います。
- 4. グローバル化に対応した経営**
グローバル化に対応した連結経営を推進するとともに、企業活動を行ううえで、人権を含む各種の国際規範はもとより、各国、各地域の文化・慣習を尊重します。
- 5. 地球環境との共存**
全ての事業活動で地球環境との共存をめざし、環境と経営を両立する技術の開発と普及に努めるとともに、省エネ・省資源活動を積極的に進め、環境に優しい商品・サービスを提供します。
- 6. 魅力的で活力にあふれる会社**
魅力的で活力にあふれる会社をめざして、公平公正な評価が行われる人事制度と安全で働きやすい環境を柱に、多様性を尊重しあい、一人ひとりの能力が最大限に発揮できる、社員にとって働きがいのある企業風土をつくります。

【活動領域】

企業の社会的責任を果たすことで、当社グループが永続的に存在するとともに、社会の発展に貢献することをめざしています。当社グループは、企業理念、行動憲章に基づいて、内部統制、人材経営、環境経営、社会貢献の四つの領域で、CSR経営として、企業の社会的責任を果たすための活動を展開してきました。2018年度よりESG（環境・社会・ガバナンス）の視点で企業のリスクと機会を評価し、企業の社会的な価値を向上させるESG経営として活動のレベルを上げ、豊かな社会の発展に貢献していきます。



内部統制

振菱電電子(北京)有限公司 CSR2020

内部統制

持続的な成長による企業価値の向上、コーポレート・ガバナンスを実現するため、そのベースとなる『業務の適正を確保する仕組みづくり』(内部統制)が経営の重要課題として認識し、グループ全体において積極的に取り組んでいます。

IBIDENグループは内部統制の目的が積極的に展開している「コンプライアンス及びリスクマネジメント推進活動」で内部統制機能を強化、社会が信頼できる透明な企業管理体制を構築することです。また、IBIDENグループで「内部統制」というのはグループ会社が健康で安定的に経営できると確保するために、全員が自発で自主的に会社の内部統制の仕組みと体制を確立して、業務の有効性及び効率性を高め、企業経営関係の法律法規を守り、資産の保全を確保、信頼性がある正しい決算報告書と財務報告を作成、日常業務を正確に取り扱うことであります。

【コンプライアンス推進活動】

当社は「コンプライアンス推進委員会」を設置して、総経理が委員長を担任し、コンプライアンス意識を全社員に広めています。委員会では会社のコンプライアンス活動の推進状況をまとめて報告し、活動の特別審査を実施します。会議で中期方針・計画を決めて、方針・計画に基づいて活動を展開します。コンプライアンス推進委員会は、毎年2回開催し、2019年度は6月と12月に開催しました。また、心悅メール、心悅ホットライン、心悅カード、クレーム電話、クレームメール等コンプライアンス関係のクレームルードをいくつか設置しています。積極的に社員の声を聞き、社員に会社経営活動に参加してもらって、会社管理と社員権利が互いに監督また関係できるようにしています。

コンプライアンス重点項目管理：一層顧客信頼度と満足度をアップ、及びビビデン北京工場コンプライアンス経営を確保するために、2019年度に「労働工の利用禁止」、「監視労働または過剰的な労働の利用禁止」、「不正の取引差別禁止」、「暴力禁止」、「仕入れ納期に遅延必ず実で依頼できる」、「現地法律で規定された最低の賃金基準より低くならない」、「労働者の安全と健康を保護する」、「顧客リスクを有効的にコントロールする」、「有毒有害実業物の不正排出禁止」、「あらゆる形の商業賄賂禁止」等十項目のコンプライアンス重点項目を重点的に管理しました。根拠から問題の発生を予防、そして定期的に現場で検査、確認します。同時に定期的な自己検査や社員インタビュー等の形式で、社員のコンプライアンス意識をアップします。

コンプライアンス教育：社員のコンプライアンス意識を向上するために、各課はコンプライアンス研修活動を実施しています。毎月、日常業務関係の法律法規の要求と社内規程制度、日常業務関係のCSR活動及び社員行動基準等を巡って、教育と訓練を実施します。重点サプライヤーに対して、持続的に労働者人権、ビジネス道德の審査活動を展開しています。そして新規サプライヤーに対して、我々のCSR指導方針を伝達します。定期的に全員に情報安全関係知識の教育を実施、社員の情報安全意識を強化し続けます。

内外部監査：財務企画部は内部監査を執行、そして窓口として外部監査を対応します。内部監査では社員との面談や帳簿帳票の査閲により内部統制の強化を図っています。内部監査の結果は本社監査室に報告、グループ全体の監査体制の有効性を強化しました。外部監査は全社のコンプライアンス、財務、資産等あらゆる分野で監査を実施していて、実態の業務にある不具合を発見したら、社内において是正措置を講じて、地まず改善を行います。

コンプライアンス遵守評価：2019年4月及び10月に財務企画部は各部門の法律法令の遵守状況について評価を行いました。2019年8月、11月及び2020年1月に品質管理課は品質管理体系、環境管理体系、エネルギー管理体系、職業健康安全管理体系を統合したIBMS管理体系のコンプライアンス評価規程に基づいて、コンプライアンスの遵守状況について評価を各1回行いました。発現された不具合をその都度是正し、全体のコンプライアンス遵守レベルを上げました。

情報安全管理體系：2019年11月に当社は情報安全ISO27001認証の年度審査を受け、情報安全管理體系は持続有効と認定されて、全員の情報安全意識が明らかにアップしています。情報安全管理を持続的に強化して、企業情報資産の機密性、利用可能性、完全性を保証しました。新たな脅威が絶えず現れているため、自身の情報安全状態を改善し、情報安全リスクの管理と制御力を強め続けなければならないで、既存の条件と資源能力を最大化に自身及びステークホルダーを満足させます。

【リスクマネジメント推進活動】

▶ 基本方針

経営を取り巻く各種リスクを分析し、事業の円滑な運営に重大な影響を及ぼす経営資源の損失を的確に回避することにより、株主、顧客および投資家等ステークホルダーの安全と経営資源の損失低減および再発の防止を図って、そして会社経営を継続と可能にします。

当社では当該基本方針及びリスク管理規程に基づき、半期毎にリスク管理目標を設定し、各リスク項目に責任部署を設置し、リスクマネジメント推進活動を積極的に展開しています。また、定期的にリスクアセスメントを行い、経営に重大なインパクトを与えられるテーマを重要テーマとして、リスクを低減し、持続で安定的な会社経営を確保します。2019年度に排他的にコストを改善、収益を拡大しています。内外和の変化が日々激しくなる情勢で、適時に変化ポイントを把握、リスクポイントを抽出、積極的に対策を取って対応しました。中層管理者に対して責任意識の教育を実施、現場社員に対して部下育成の教育を実施、管理者の管理レベルを持続的に向上させています。一連の「成長管理」教育を展開、会社制度の宣貫教育を強化しました。積極的に廃棄物処理、省エネ排出削減技術を高め、新設備を導入、政府の環境保護の呼びかけを答えました。2019年度にSA8000体系に基づいて行った内部監査で、重大問題は発見されませんでした。今後、会社の内部管理の方向と積極的な明確性を持続的に強化、穏やかにリスクマネジメントのレベルと方案の品質を向上します。

人材経営

振菱電電子(北京)有限公司 CSR2020

人材経営

社員はイビデン電子が持続的に発展する原動力であります。当社は「人材本位・コンプライアンス管理」の人的資源管理理念の指導で、社員の權益保障と職業發展スペースを注目、全社員が最大に能力を発揮できる環境を作ることにより力を尽くしています。同時に社員の心身健康に熱心を持って、積極的に助け合って、友好的な仕事雰囲気を作り、社員の楽しい仕事と健康生活の実現を助力します。

【1. 社員研修】

2019年度に当社は制度構築や内部訓練コース等を通じて、効果顕著な実践を展開し、コース体系を持続的に最適化しました。「研修管理規定」を改訂、新入社員の三級研修プロセスを最適化にして、研修形式とコース内容を豊富にしました。「中層管理者シリーズ教育」、「現場班組長教育」、「スマート化体系化標準化教育」、「業務効率アップVBAシリーズ教育」、製造技術、商品設計、品質管理など部門のエンジニアに対して、FMEA教育を実施、積極的に技術者の技術能力を向上させる等、各層級の社員を対象とする教育項目を展開しました。年中累計教育を124項目実施、参加の延べ人数が8715人で、一人当たりの教育時間が34時間に達し、12項のカテゴリ及び社内共通領域をカバーしました。



① 効率的なコミュニケーションスキルトレーニング



② スマート化体系化標準化教育



③ 中層管理者・C位になる管理教育



④ 業務効率アップ教育



⑤ 現場班組長・部下育成教育



⑥ 品管技術類FMEA教育

【職場スキル上昇試合】

持続的に業務技能を向上させるために、当社は現場で全社参加の「職場訓練、技能試合」活動を展開しました。業務技術を鍛えただけではなくて、模範も樹立し、社員の自ら向上する意識も呼び起こしました。試合は2つの段階を分けていて、第1段階は職場訓練で、規範作業教育を実施しました。第2段階は正式な試合で、第1段階の効果を検証することになります。練習から試合まで3ヶ月間経て、各部門は異なる職場、工程によって、57項目の試合を展開して、1回戦、2回戦を全部で147回行い、参加人数は約900人で、業務模範を52人、業務標兵を228人、優秀操作員を228人選出しました。



⑦ 職場訓練・流定測量作業



⑧ 職場訓練・薬液識別試合



【ヒューマンケアで調和文化を推進】

当社は社員の成長と発展を注目する同時に社員の仕事と生活のバランスも促進しています。インタラクティブ・コミュニケーション・プラットフォームを構築、社員間のコミュニケーションを促進、社員の活力を盛り上げています。定期的に座談会を開催、社員で社員の考え方をインタビューします。社員の余暇生活を重視、積極的に社員の歓迎を受けられる豊富な多彩な文化娛樂体育イベントを催し、趣味運動会、ファミリーデー、戸外団体など活動を展開しました。全社員の幸福感和帰属感を向上、仕事と生活のバランスをよく取らせて、会社の団結力と求心力を明らかに向上させています。



⑨ ファミリーデー



⑩ 戸外団体旅行活動



⑪ 社員座談会



⑫ 社員趣味運動会

人材経営

振興電子(北京)有限公司 CSR2020

【TPM推進活動】

▶ **TPM人材教育活動**：設備と従業員の作業効率を高め、会社の競争力を向上するために、現場組長以上管理者に対して、「生産管理の基礎」と「新任組長勤務交替の管理」教育を実施しました。現場班、組長の改善能力と技術レベルをアップするために、保全エンジニアを招聘、班、組長に対して、保全マンの理論知識教育と実践トレーニングを実施しました。



「生産管理基礎」教育



「新任組長勤務交替管理」教育



「製造保全マン理論知識」教育



製造保全マン実践トレーニング

▶ **TPM指導活動**：会社トップ指導者やTPM活動専門家によるTPM各基幹部門の管理者や社員に対して定期的にTPM活動を指導していただき、持続的にTPM活動レベルを向上させています。



高層指導者診断会 - 歩留まり改善



高層指導者診断会 - 新生産工芸立上



専門先生指導会 - 作業ロス改善



専門先生指導会 - 現場5S改善

▶ **TPM改善活動**：全員参加で、作業効率向上、作業ロス削減、設備機能向上、歩留まり高め、コスト削減、生産周期短縮、排気削減等を巡って、会社内部の自主改善活動を展開しました。



工程自主保全小グループ改善会



液漏れ結晶発生源対策改善



管理者改善会



設備排気削減改善

▶ **TPM交流活動**：定期的に会社内部TPM自慢大会、年度TPM表彰大会を開催、積極的にグループ会社の年度ワールドTPM交流大会に参加、TPM活動の優秀事例や管理経験をまとめて共有し、全員のTPM改善視野を広げ、会社全体の改善レベルを向上させています。



2019年8月自慢大会



2019年度TPM委員会



2019年度会社TPM大会



2019年度ワールドTPM大会

2019年度TPM活動で持続的にSS及び3つの保全活動を基礎として、品質不良を消しています。生産AI化アプリケーションの応用を実現、管理レベルを向上させています。2020年から、ネットは5G時代に入って、強大な総合実力と革新的な管理理念は企業経営の基礎になります。当社は持続的に全員参加のTPM活動を展開し、持続的な発展が可能な世界一流工場になるために、絶えず努力します。

人材経営

振興電子(北京)有限公司 CSR2020

【安全健康活動】

【労働安全衛生基本方針】

私達は「BIDEN WAY」に基づいて、全員参加の労働安全衛生活動を通して、会社の経営に参加している全員の生命に脅威になる要因及び健康に不良影響になる要素を最低限に低減することを基本方針として、労働安全衛生と会社経営活動の調和を図ります。

【安全衛生環境委員会】

より良く安全衛生と環境の業務を推進するために、会社は安全衛生環境委員会を成立して、月1回月度の安全環境管理指標の達成状況と重点項目の推進状況を総括して、安全環境課題を検討、安全環境計画を作成、重大安全環境事項を決定、安全環境の重点業務を配置します。総経理は委員長として、各部門の責任者は委員会委員として会議に出席します。安全衛生環境委員会は当社安全環境関係の最高級の会議であります。

【安全月活動】

毎年の6月は当社の安全活動月です。この期間中、当社は以下

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1、安全知識クイズ | 5、応急予案演習 |
| 2、安全員技能向上トレーニング | 6、優秀安全員評定 |
| 3、安全リスク洗出 | 7、優秀安全チーム評定 |
| 4、数年来の事故事例教育 | 8、高層指導者安全パトロール |

一連の安全活動を展開して、社員約1242名が活動を参加しました。その中に安全知識クイズ活動は累計1100人余り参加して、安全健康知識の宣伝と普及の目標を達成しました。安全員技能上昇訓練は3回実施し、兼任安全員を142人育成しました。安全員の業務能力をアップさせ、改めて安全員の責任を強調しました。優秀安全チーム評定で否決項目を10項目設置し、一票否決制を実行して、一層現場の安全管理を強化しました。上述の活動を通して、社員の安全生産意識を一層高めて、会社で濃厚な安全生産雰囲気を作り上げています。

「隠れた危険を取り除く、安全防衛線を築く」は今年全国安全月のテーマで、このテーマを貫徹するために、日常安全管理業務の重点は社員安全教育、現場安全監督強化、持続的に作業場所の環境を検査すること、定期的に緊急対応訓練を展開することにあります。豊富多彩な安全活動で、「私は安全がほしい」という安全文化を創り、団結で協力して安全生産の目標を達成しました。

2019年度は当社の病因での欠勤率が0.17で、約1064人の社員が健康体検を参加しました。

当社は2019年度の実績を踏まえて、2020年度職業安全衛生目標の指標を作成しています：

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 労災発生頻率（百万労働時間） | 0 |
| 2. 病因での欠勤率（累計） | <0.35 |

以下は会社の一部分の安全環境活動：



安全月キックオフ大会



安全月キックオフ大会



安全知識クイズ



安全班組と個人表彰

環境経営

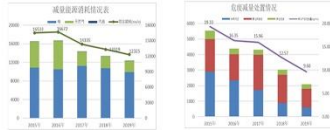
振興電子(北京)有限公司 CSR2020

【環境経営】

基本方針：「IBIDENWAY」に基づいて、全員参加の環境負荷低減活動を通して、会社の経営活動が地球環境に及ぼした影響を削減、次代企業に伝えられる役割を果たし、地球環境との共存を図ります。

【環境活動】

環境コンプライアンス経営方針に指導されて、省エネ・汚染削減の効果向上活動を展開、持続的に環境改善を推進、企業の社会責任を履行します。2019年度に当社は生産ラインの密封と排気ガス処理施設の排出削減改善、中央集塵導入改善、汚泥の含水率低減と乾燥改善、水処理のバイオ汚泥量の低減改善、ドライフィルム残渣の減量改善、電力エアコンを水冷エアコンに変更する省エネ改善、レーザ設備の冷却用の空気冷却を水冷に変更する改善などの改善項目を実施して、省エネ・汚染削減の効果向上活動の目標を達成しました。改善で前年度より総合エネルギー消耗は7.5%低減、中で電力消費は7.9%低減、ガス消費は10.1%低減しました。危険廃棄物総量は28%低減、中で銅汚泥の排出は30%低減しました。排気量は26%低減、中で硫酸霧の排出量は50%低減、塩化水素の排出量は64%低減、非メタン炭化ガスは75%低減しました。環境への排出削減を推進、設備の排気の設計原理を変更、部門間の協力で大幅に酸霧の排出を削減、北京の青い空に貢献し、北京経済技術開発区が授与される「高質量発展百強企業」賞を受賞しました。



製品の有害化学物質の管理を整備するために、当社はQC080000有害物質管理体系を構築して、SGS認証を取得しました。定期的にサプライヤーにグリーン購買の調査を実施、購買品の有害物質の適合性を評価、当社全ての製品が法律規制及び顧客の管理要求に適合することを確保、顧客満足度を向上させます。さらにサプライヤーの環境管理体系の構築及び運行状況を調査そして評価し、サプライヤーがしだいに環境管理体系と有害物質管理規制を構築、それから整備することを促進します。

エネルギー管理体系を強化するために、当社はISO50001基準に従って、2015年にエネルギー管理体系を構築して、第三者機構の認証を取得しました。それから、毎年、審査を行い、審査で提出された欠点やアドバイスを改進し、整備します。2018年にISO50001基準はバージョンが変更したので、社内で2018年新版基準について教育を実施しました。管理現状と基準要求の間にあるギャップを調べて、体系のバージョン変更に取り掛かって、2020年までエネルギー管理体系のバージョン変更及び認証を完成すると計画しています。

当社は環境改善の成果が北京政府主管部門に高く認可され、そして専門家の清潔生産審査に合格しました。中国法律法規は環境管理を厳格にし、強化する一方で、当社は法律要求にしたがって、汚染物質排出許可証を取得しました。業界の汚染物質排出許可証の技術規範の要求と照合して、生産工芸、設備、原材料と補助材料の使用状況に対して現状を把握し、各工芸のプロセスの汚染物質の発生と排出状況を明確にして、作成した報告書を主管行政部門に提出して、政府が発行した汚染物質排出許可証を獲得しました。同時に「中華人民共和国土壤污染防治法」の要求に従って、当社は土壤環境汚染の現状を調査して、工場

環境経営

振興電子(北京)有限公司 CSR2020

エリアの土壌と地下水に対してサンプリングして測定しました結果、各指標は全部が国家基準に適合しており、測定報告を政府主管部門に報告し記録してあります。当社は持続的に環境のコンプライアンス管理を推進し、環境リスクを低減し、環境管理のコンプライアンス運営を確保します。法律規制が要求された職責を果たし、定期的に外部に環境情報を公示、公衆の監督を受けます。



【環境負荷低減・省エネ改善事例】

2019年度基盤改善で以下の活動を展開しました：

- 第1：設備の密封、薬液使用量の削減など対策でスクラパーの排気量を削減しました；
- 第2：工場の水冷却システムを活用して、板反り修正の電気エアコンを水エアコンに変更しました。

【重点改善項目1スクラパー排気量の低減改善】

改善目的：

部門間の5S活動を展開、現場設備に対して密封、漏れ防止、調整など改善を実施して、スクラパーに対して劣化復旧、合併及び改造を実施して、さび無し、結晶無し、液漏れ無し、故障無し工場を構築、無秩序な排出を除去、80%の酸霧排気を削減、企業が持続的に発展するために、北京の青空に企業責任を果たしました。

改善成果：

前年同期比風量は88%低減、HCL率は46%低減、設備の稼働台数は81%低減、稼働費用は66%低減、環境法律規制の要求に完全に適合しています。

【重点改善項目2工場的水冷却システムを活用して、板反り修正の基板を冷却する用の電気エアコンを水冷却エアコンに変える】

改善目的：

板反り修正工程は冷却システムが独立電気エアコンで、冷却量及び温度に要求があります。年間高温で出力するため、エアコンは劣化が激しくて、エネルギー効率が低くなって、故障が頻発しています。水冷却システムは水温が一定で、十分な冷却量を確保できるので、電気エアコンを水冷却エアコンに変えると、安定性を高めた同時に電気エネルギーも節約しました。

改善成果：

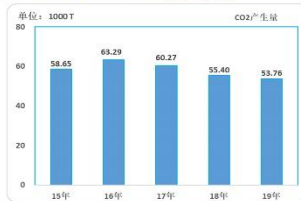
改善して、水冷却エアコンの電気使用量は18.3kw/台から7.5kw/台に落ちて、冷却量は42.5kw/台から208kw/台にあがって、年間電気の使用量も費用も80%以上削減しました。

環境経営

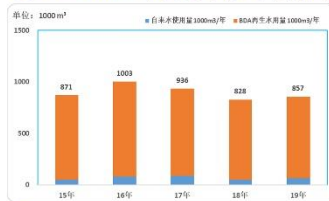
振興電子(北京)有限公司 CSR2020

【環境負荷関連データ】

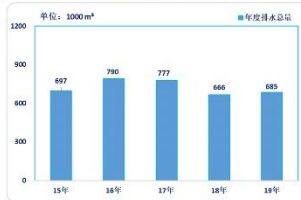
1. 2015-2019年CO2排出状況



2. 2015-2019年水道水、再生水使用状況



3. 2015-2019年排水量状況



4. 2015-2019年廃棄物産出状況



5. 大気検測結果排気状況

排出場所	検測項目	単位	国家基準	自主管理基準	平均値	最大値
スクラバー	硫酸霧	(mg/m³)	5	4.5	0.25	0.52
	塩化水素	(mg/m³)	10	9	0.61	1.28
	シアン化水素	(mg/m³)	0.5	0.45	0.04	0.05
脱臭タワー	アンモニア	(mg/m³)	10	9	0.70	1.05
	硫化水素	(mg/m³)	3	2.7	0.01	0.03
一般排風	粉塵	(mg/m³)	10	9	2.46	2.90
	トルエン	(mg/m³)	10	9	0.09	0.18
	非メタン炭化水素	(mg/m³)	20	18	1.43	2.00

社会貢献

振興電子(北京)有限公司 CSR2020

【社会貢献】

【疫病と戦う活動】

2019年末、新型コロナウイルスは全国を席卷、そして、世界中に急速に拡散しています。新型コロナウイルスは感染性が強い、伝播速度が速い、飛沫、接触、エアなど様々な方式で拡散できます。製造型企業として人員の基数が大きくて密集しやすい、物流の不調及び疫病予防物資の不足は疫病初期に当社の予防活動の難点になりました。疫病発生を察知して、当社は速急に各部門の責任者を集めて対策会を開催しました。疫病予防小組を成立、人員管理、物資保障、環境衛生など各方面から詳しい管理プロセスを制定し、持ち場まで明確させ、個人まで責任を持たせて、全ての経営活動は社内の「新型コロナウイルス疫病予防緊急管理規定」に従って実施しています。疫病予防制度を整備、自掛りで社員健康状況のオンライン申告プログラムを開発しました。社員は出勤前にwechatの小プログラムで自己健康状況を申告すると、人事部門はリアルタイムに全社員の健康状況を把握できて、関係データをタイムリーに政府関係部門に送付できます。定期的に例会を開催して、疫病予防の対応状況を報告、疫病予防での不十分な点を反省、経験をまとめて改進し続けます。同時体温測定カメラを導入して、出勤のラッシュアワーにも社員が密集しなくて、快速に通過できるように確保しています。地方から帰京した従業員が国の要求通り家または集中隔離で医学観察を受ける政策を着実に実施しました。工場に進出する人員の登録制度を整備して、社員の出、退勤管理及び外部人員の入構申告管理を強化しました。指定された係りがオフィスと生活エリアの定期的な清潔と消毒を担当しています。社員食堂の食事制度を変更して、料理を取り分ける、食事時間をずらす、席を隔てて座るなど食事方式を実施し、食事中互いに話しかけることを禁止しました。疫病予防知識の宣伝を強化、工場内で疫病予防宣伝ポスターを貼り付け、食堂などの場所で疫病予防ビデオを連続的に放送するなど方式で、社員の疫病に対する防護意識を向上しました。積極的に社員及び社員家族にマスクや消毒液、アルコール綿など疫病予防用品を配備してあけて、社員の個人保護を協力しています。隔離室や無接触配送台を増設するなど措置を取りました。疫病期間中、当社社員は法律規制を守り、防護を規範に適合させ、厳格的に会社規定に従って各活動を展開しました。「人々は健康のために、健康は人々のために」の精神を貫徹、社会責任を確実に履行しました。社員全員の努力で、当社は順調に操業を再開して、操業再開期間中「ゼロ輸入、ゼロ感染、ゼロ事故」の目標を達成しました。



同時体温測定カメラ



外部人員訪問・体温測定、健康コード確認



社員にマスクを配る



席を隔てて仕事する



席を隔てて食事する



社員健康申告小プログラム

社会貢献

攝菱電子(北京)有限公司 CSR2020

【社会貢献】

① 【植樹ファミリー活動】

2019年4月13日に当社社員及び家族約450人はイビデン第4回工場エリアでの植樹活動に参加して、樹を約200本植えました。企業及び社員の社会責任を果たしながら、工場の環境も美化されました。活動は社員の環境保護意識を喚起し、ファミリーの形式でイビデンの環境理念を社員全員の家族にも伝えて、環境を美化するや北京の青い空を守ることに参加してもらいます。



② 【地域貢献】



① 慶華誕フラッシュモブ活動

2019年9月に新中国成立70周年を祝賀、亦庄高精鋭企業と高レベル人材の愛国熱情を表現するために、経済開発区工委宣伝部は「私と私の祖国」をテーマとしてのフラッシュモブ活動を主催しました。当社は積極的に応えて、社員を33名派遣して撮影に参加しました。団結昂揚の精神風貌で偉大な祖国の70周年誕生日に礼をささげました。



② 北京市民体質促進項目挑戦試合

2019年度10月に「2019年度北京市民体質促進項目挑戦試合(南エリア)」は大興区体育場で開催しました。当社代表チームは選手10名が8項目の試合に参加しました。選手達は優れた全体の實力と奮闘の体育精神で82の代表チームに勝って、再度一等賞を獲得して、会社に榮譽を勝ち取っただけではなく、体育文化建設にも貢献しました。

社会貢献

攝菱電子(北京)有限公司 CSR2020

③ 冰雪カーニバル

2019年12月に当社は北京經濟技術開發区全民体育協会メンバー(理事級)として、北京冬季オリンピックを応援するために、積極的に開發区が主催した第6回の「快樂市民冰雪季活動」に参加しました。今回の活動は濃厚な全社会2022年北京冬季オリンピックに参加する雰囲気を作りました。より多くの社員に冬季運動項目を了解、参加してもらって、社員の冬季運動項目に対する興味をそそって、冬季運動項目が腐した楽しみを体験してもらいました。



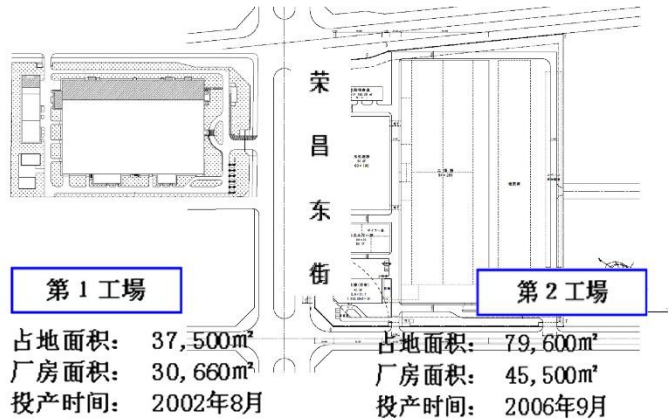
④ プランク挑戦試合

2019年12月当社は社員を按配して北京經濟技術開發区が主催した「北京記録」北京經濟技術開發区プランク挑戦試合に参加しました。達人が雲の如し多い競技場で、当社選手は力を尽くして頑張って、いつまでもあきらめないで、スポーツに参加する情熱を見せたと、開發区の全国民健康事業の發展も積極的に推進しました。「健康中国」を建設するという壮大な目標の達成に力を貢献しました。



会社概要

揖斐電電子(北京)有限公司 CSR2020



第1工場



第2工場

会社概要

揖斐電電子(北京)有限公司 CSR2020



揖斐電電子(北京)有限公司

IBIDEN Electronics (Beijing) CO., LTD

設立: 2000年12月25日

企業性質: 日本独資

母 公 司: イビデン株式会社 (IBIDEN CO., LTD.)

主要製品: 高密度多層プリント配線板

投資総額: USD 281,000,000-

資 本 金: USD 100,000,000-

董 事 長: 児玉 幸三 (MR. Kodama Kozo)

総 経 理: 袁 本鎮 (MR. Yuan Benzhen)

社 員 数: 1,300 名

所 在 地: 100176

北京経済技術開発区荣昌东街 15 号

TEL: 010-67882288

FAX: 010-67872807

HTTP: www.ibibj.com.cn

* 2020 年 3 月 31 日末現在